

第 52 回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時 令和 3 年 8 月 12 日（木）午後 1 時 30 分から午後 1 時 45 分まで
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター会議室
- 3 出席者 知事、山下副知事、古川副知事、企画理事兼商工労働観光部長、危機管理監、知事室長、職員長、総務部長、文化スポーツ部長、健康福祉部長、京都府議会事務局長、教育監、警察本部長、山城広域振興局長、南丹広域振興局長、中丹広域振興局長、丹後広域振興局副局長、京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議議長及び京都市危機管理監

4 議事録

【危機管理監】

- ・ 京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催します。
- ・ 本日は、最近の感染状況等を踏まえ、今後の対応について協議いただくこととしております。
- ・ それでは西脇知事に会議の進行をお願いします。

【知 事】

- ・ まずはこの間、昼夜を分かたず、医療現場の第一線で御奮闘いただいております医療従事者の皆様に、心から感謝を申し上げます。また、ここにきて感染が拡大し、さらに医療現場への負荷が高まっています。なにとぞ、よろしくお願いしたいと思います。
- ・ また、府民、事業者の皆様には、4 月以降、長期間にわたって、外出の自粛、往来の自粛、飲食店等における営業時間短縮等、大きな御負担をおかけしています。多大なる御協力に対しても、心から感謝を申し上げたいと思います。
- ・ 第 5 波の感染は、これまでに経験したことがないスピードで急拡大をしています。
- ・ 昨日の京都府内の新規感染者数は 341 人ということで過去最高、7 日間の移動平均は 269.4 人、前週比は 1.47 倍と、拡大が続いている状況です。
- ・ 改めて、デルタ株の感染力の強さに驚いています。
- ・ 本日は、こうした危機的な局面の中、いかにこれ以上の感染拡大を抑え、医療提供体制等の充実と併せて、府民の皆様の命と健康を守るために、今後の対応について議論したいと考えていますので、よろしくお願いしたいと思います。
- ・ まずは、最近の感染状況等について、健康福祉部長から御説明をよろしくお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 1 に基づき説明

【知 事】

- ・ 続きまして、感染拡大を踏まえた今後の対応について、危機管理監から、事務局案の御説明をお

願います。

【危機管理監】

※資料 2 に基づき説明

【知 事】

- ・ 続きまして、医療・検査体制の拡充、新型コロナワクチンの早期接種について、健康福祉部長から御説明をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 3、4 に基づき説明

【知 事】

- ・ ここまでの説明について、専門家会議の松井議長から御助言をよろしくお願いします。

【専門家会議議長】

- ・ 御報告のとおり、感染が過去最高のレベルまで拡大をしています。その原因ですが、ウイルス株の変異により、感染がしやすくなっているということや、人の活動が活発になっていて、人と人との接触の機会が増えていることにあると考えています。
 - ・ ワクチンの接種や医療体制の充実を行っていますが、これ以上感染が拡大すると、コロナ感染症の患者も、それ以外の病気の患者も、治療が遅れたり、受けることができなくなるという事態が生じます。あるいは、すでに生じ始めているかもしれません。
 - ・ 今一度、感染を抑えるための行動をお願いしなければいけないと考えています。
 - ・ そのために、専門家会議としても、緊急事態に相当するということを申し上げたいと思います。
 - ・ 今一度、府民の皆様には、できる限り人との接触を減らすことが、感染予防には効果的であるということを思い出しいただき、熱中症には十分注意した上、必要に応じて、正しいマスクの装着、手洗いを心がけ、一人ひとりがうつらない行動、うつさない行動をお願いしたいと思います。
- 以上です。

【知 事】

- ・ 今の感染状況や医療提供体制の状況を見ると、松井議長のお話のとおり、コロナ感染症の患者さんはもちろん、通常医療についても、非常に大きな影響を与える可能性が出てくるということで、なんとか感染の拡大を抑えて、少しでも減少局面に持って行くようにしたいと思っています。緊急事態にも相当するということで、引き続き、最大限の努力を行ってまいりたいと思っています。
- ・ 次に、京都市の三科危機管理監から、御意見をよろしくお願いします。

【京都市危機管理監】

- ・ まん延防止等重点措置を運用している最中ですが、夜の外出自粛や、酒類の提供自粛には一定の

効果を果たしていると思います。ただ、若者を中心に拡大し、学校施設、事業所等で広範囲にクラスターが発生しており、やはり緊急事態措置が必要な状況にあるということを出して、あらゆる局面で感染防止対策を実践いただく必要があると思います。

- ・ ワクチン接種の拡大について、京都市においても8月7日から集団接種会場で、あらゆる世代の方々の登録を受け付けていますし、2日からも900を超える診療所・病院等で、64歳以下の皆様の予約も開始しており、府市連携をして、広報をし、さらなるワクチン接種の促進を図っていきたいと思います。
- ・ また、待機状態の方も含めた自宅療養の方々の対応について、引き続き、施設療養が進むように対応したいと思います。また、京都市の保健所においても、重症化リスクのある方をしっかりと把握し、中和抗体治療に繋げていくということを行いたいと思います。
- ・ また、リスクのある方々が、訪問診療に加えて、電話診療等をしっかり受けられるように、府医師会の皆様とも連携をして、京都市の電話診療所の開設をしていきたいと思っています。併せて、自宅療養の方々のサポートをしっかりと行っていきたいと思っています。
- ・ 引き続き、府、そして医師会の皆様とともに連携をして、厳しい局面にある療養者の対応に取り組んでまいりたいと思います。以上です。

【知 事】

- ・ まん延防止等重点措置について、引き続き京都市と緊密に連携をして、感染拡大防止に取り組んでまいりたいと思っておりますし、自宅療養者数や、感染者数の絶対数が増えておりますので、保健所も含めて、健康観察に万全を期していくということで、新たに京都府医師会と連携して、電話診療を始めていただきました。
- ・ 何層にも、準備をして、自宅療養者、宿泊療養者の方々の健康維持に努めてまいりたいと思っておりますので、引き続き御協力をよろしくお願いしたいと思います。
- ・ その他に御意見等がなければ、この事務局案によって、緊急事態措置を視野に国と協議をするとともに、まん延防止等重点措置の改定をして、さらなる対策の強化に努めていただきたいと思います。
- ・ その他に、各部局から報告事項がなければ、本日の会議の総括とさせていただきます。
- ・ 第5波の新規の感染者数は、これまでに経験したことのないような、速いペースで拡大をしています。特に、若い年齢層を中心に、急激に増加しておりますが、これからお盆の時期も控え、人流の増加が懸念される時期でもあり、しかもデルタ株への置き換わりが、京都府は、非常に速く進んでいます。首都圏での感染拡大の全国への波及と、様々な懸念材料がありまして、非常に強い危機感を持っています。府民の皆様への呼びかけは私からさせていただきますが、関係部局においては、これからお話しする2点について、万全の体制で対応していただきたいと思います。
- ・ まず1点目は、今日決定した緊急事態措置を視野に入れた国との協議を早急に進めていただくとともに、まん延防止等重点措置の措置区域を拡大したので、この措置区域の拡大に伴って、特に飲食店等の皆様には、大きな御負担をおかけいたしますが、確実に実施いただけるように、府民、事業者の皆様、市町村、関係団体等に対して、できる限り丁寧に御説明をして、要請をし、協力いただけるように努力をしてください。

- ・ 2点目は、やはり感染者の急拡大によって、医療現場には非常に大きな負担がかかっており、病床の逼迫も懸念される事態となっています。私からも直接、医療の関係者の皆様にもお願いをし、意見交換をしました。医療提供体制、病床の確保を行い、宿泊療養、自宅療養等、全てそれぞれの状況に応じて、皆様が、適切に医療等の対応をしていただけるような仕組みということで、様々な新しい仕組みを入れることにしていますが、これらが、効率的・効果的に機能するように、努力をしてもらうとともに、事態がどんどん変わっていきますので、柔軟な運用をしていただきたいと思います。
- ・ いずれにしても、ワクチンの接種をできる限り進めますが、それと並行して、何とかこの第5波を乗り切るために、緊張感を持って対応していただくように、改めてお願いします。私からは以上です。

【危機管理監】

- ・ 関係の部局長におかれては、先ほどの指示事項を踏まえ、万全の取組をお願いします。
- ・ 松井議長、三科危機管理監におかれては、お忙しいところ、御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。
- ・ 以上をもって、対策本部会議を終了します。